

平成24年度事業活動の概要報告

昭和32年に設立された財団法人神戸大学六甲台後援会は、平成23年度より、公益財団法人神戸大学六甲台後援会として新たな歩みを始めました。当財団の平成24年度（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の事業報告及び財務諸表につきましては、平成25年6月10日に開催された理事会及び6月25日に開催された評議員会において監査報告書を含めて報告・承認されたところですが、ステークホルダーの皆様方に当財団の活動内容をご理解いただきたく、ホームページ上でも、(1)学術交流促進・研究成果公開助成事業（学術交流の促進と研究成果の公開に係る助成事業）、(2)教育の充実・学術基盤整備助成事業（教育の充実と学術基盤整備に係る助成事業）、(3)学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持管理事業という、当財団が行う主要な事業の別にその概要について、財務諸表（貸借対照表と正味財産増減計算書）の要旨と併せてご報告させていただきます。

平成24年度では、学術交流の促進や研究成果の公開、教育の充実に係る助成事業を継続して実施するとともに、学術基盤整備にかかる助成事業の一環として、特に神戸大学武道場の修復を支援するために5百万円を支出いたしました。

なお、上記6月開催の理事会及び評議員会において、理事長が新野幸次郎の任期満了退任に伴い高崎正弘に、また、評議員会と理事会についても一部構成員の交代がありました。今後とも、従前と同様のご協力とご支援を賜わることをお願い申し上げます。

I 事業報告の概要

（金額は千円未満四捨五入）

1 学術交流促進・学術成果公開助成事業（ただし、付帯経費を除く）	22,987千円
1 - 1 学術交流の促進	20,527千円
(1) 海外研究活動支援（海外研究活動や海外学会派遣等への助成）	17,382千円
○経済学研究科	(3,388千円)
・中村 保教授（平成24年6月～平成24年8月、カナダ他）	
目的：所得格差に関する理論的・実証的研究に関する研究打合せ及び資料収集のため	
・佐野晋平准教授	
小葉武史講師（平成25年2月、フランス他）	
目的：雇用システムと賃金構造に関する国際共同研究に係る資料収集と研究打合せ	
・春山鉄源教授（平成25年3月～平成25年5月、連合王国）	
目的：特許レースにおける企業の異質性と長期的技術進歩に関する研究	

- 経営学研究科 (5,144千円)
- ・原 拓志教授 (平成24年6月、トルコ)
目的：イェデテベ経営戦略国際研究大会への出席、医薬品産業のイノベーションについての報告及び情報収集
 - ・三古展弘教授 (平成24年9月～平成25年9月、連合王国)
目的：交通行動分析および交通政策に関する研究
 - ・砂川伸行教授 (平成25年3月、ベトナム)
目的：①ベトナム進出における先駆的日本企業の現状視察、ヒアリング
②国際協力銀行にて最近の日本企業のベトナムでの動向についてヒアリング
 - ・栗木 契教授 (平成25年3月～平成25年5月、アメリカ合衆国)
目的：グローバル・マーケティング・コミュニケーション分野における調査分析及び論文投稿に関わる研究打合せ
- 法学研究科 (5,000千円)
- ・田中 洋准教授 (平成24年9月～平成25年8月、ドイツ)
目的：ヨーロッパ私法における平準化の方向性と課題に関する研究及び資料収集のため
 - ・齋藤 彰教授 (平成24年9月～平成25年10月、連合王国)
目的：スコットランド国際私法に関する調査、比較国際私法に関する共同研究、シンポジウムの準備および打合せのため
 - ・大内伸哉教授 (平成24年10月～平成24年11月、イタリア他)
目的：イタリアの労働市場法制およびフランスの労働市場法制に関する調査のため
- 国際協力研究科 (2,350千円)
- ・川畑康治准教授 (平成24年4月～平成25年3月、カナダ)
目的：東アジア諸国の工業発掘メカニズムに焦点を当てた産業構造と経済成長に関する研究
 - ・柴田明穂教授 (平成25年3月、フランス)
目的：際環境法の現代的展開：国際ライアビリティ制度の研究 (資料収集)
- 経済経営研究所 (1,500千円)
- ・野口昌良教授 (平成25年1月10日～平成25年5月、連合王国)
目的：「两大戦間期炭鉱業と事業費予算管理の展開」に関する研究
- (2) 学会・シンポジウム等開催支援 (国内学会・国際学会・シンポジウム・フォーラム・セミナー・ワークショップ等開催への助成) 3,145千円
- 経済学研究科 (1,045千円)
- ・経済学研究科における日本経済・金融の学問水準高揚のための研究会開催等援助費
 - ・神戸大学 (経済学研究科・経済経営研究所)、漢陽大学校、経済金融大学 (経済研究所) 第10回共同研究発表会 (平成24年6月1日、参加者数11名)

○経営学研究科 (500千円)

・経営行動科学学会第15回年次大会開催援助費

(平成24年11月17日～18日、参加者数200名)

○国際協力研究科

・国際開発学会全国大会

(100千円)

テーマ:「東日本大震災と災害弱者—国際協力への教訓—」

(平成24年12月1日～2日、参加者数324名)

○経済経営研究所

(1,500千円)

・神戸大学創立110周年記念事業 神戸大学経済経営研究所・イェール大学経済成長センター共催シンポジウム

テーマ:「東日本大震災と阪神淡路大震災」他

(平成24年5月10日～11日、参加者数60名)

・神戸大学(経済学研究科・経済経営研究所)、漢陽大学校、経済金融大学(経済研究所)第10回共同研究発表会 (平成24年6月1日、参加者数11名)

1 - 2 学術成果の公開 **2,460千円**

(1) 学術研究成果刊行支援(学術研究成果刊行への助成) 2,400千円

○経済学研究科

(2,400千円)

・吉井昌彦著『EU統合の深化とユーロ危機拡大』勁草書房

・奥西孝至著『西ヨーロッパの市場と規制～15世紀フラデレンの穀物流通～』

勁草書房

(2) 海外学術雑誌投稿支援(海外学術雑誌投稿への助成) 60千円

○経営学研究科

(60千円)

・教員の研究論文海外投稿支援(1名)

三古展弘准教授

2 教育の充実・学術基盤整備助成事業(ただし、付帯経費を除く) **25,564千円**

2 - 1 教育の充実 **20,564千円**

(1) 社会科学特別奨励賞 10,232千円

(経済学部・経営学部・法学部の学部学生(2年生～4年生)、及び経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生(博士課程前期課程2年(法学研究科にあつては専門職学位課程を含む)の成績最優秀者への奨学金支給)

(2) 社会科学特別奨励賞 4,016千円

(経済学研究科・経営学研究科・法学研究科・国際協力研究科の大学院学生(博士課程後期課程)の海外研究活動支援)

(3) 相互履修科目開講支援 1,120千円

他学部学生向け増設専門講義科目

経済学部: エssenシャル・ミクロ経済学、エssenシャル・マクロ経済学

経営学部：エッセンシャル経営学、エッセンシャル会計学

法学部：エッセンシャル民法、エッセンシャル商法

- (4) 田崎奨学基金による奨学金支給（1名）・・・・・・・・・・ 100千円
- (5) 久研究奨学基金による学生の海外研究旅費支給（3名）・・・・・・ 3,414千円
- (6) 凌霜研究奨学基金による学生への支援（3件）・・・・・・ 600千円
- (7) 大学院学生に対する支援・・・・・・・・・・ 1,082千円
- 法学研究科 (1,082千円)
 - ・大学院学生の海外研究活動支援（3名）
 - ・院生のエクスターンシップ実施経費

2 - 2 学術基盤の整備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5,000千円

- (1) 神戸大学武道場の修復助成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5,000千円

3 学術交流施設維持管理事業 110千円

- (1) 学術交流施設（「ロイ・スミス館」）の維持・管理・・・・・・・・・・ 110千円